

研究機関：広島大学

研究課題名	ICU での重症 COVID-19 患者の混雑具合による患者予後への影響の検討
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬 伸朗
研究期間	許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日
対象者	2020 年 1 月から 2022 年 7 月の間に、広島大学病院 ICU で COVID-19 感染症により治療を受けられた患者さん。
意義・目的	ICU の混雑具合の増加は ICU 患者の死亡率の上昇と関連することが知られています。COVID19 は他の病態と比較して特に人的資源、物的資源の限界が診療上の問題となりやすい病態であり、海外の先行研究では、COVID-19 患者による ICU の混雑具合の増加により COVID-19 患者の予後が悪くなる可能性が示唆されています。しかし日本の ICU における COVID-19 患者の患者数の増加や患者集約の程度が、患者予後や治療内容に与える影響は十分に分かっていません。
方法	本研究は、広島大学病院 ICU で COVID19 のため治療を受けられた患者さんのデータも含む、全国規模のデータベース（CRISIS）のデータと JIPAD データベースを利用して行います。データベースには、年齢、性別、人工呼吸管理の内容、ECMO 治療の内容、転帰（生存、死亡）などの情報が含まれています。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） 利用または提供を開始する予定日：実施許可日
外部への試料・情報の提供	ありません
試料・情報の提供機関	NPO 法人日本 ECMOnet（理事長竹田晋浩）より、CRISIS のデータを、JIPAD ワーキンググループより JIPAD のデータの提供を受け、広島大学（研究担当者 菊谷知也）が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 志馬伸朗
個人情報の保護について	CRISIS と JIPAD のデータベースには氏名などの個人が識別できる情報は登録されておらず、既に誰の情報か分からないように加工されたデータの提供を受けます。調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5456 広島大学病院救急集中治療医学 職名 助教 菊谷 知也